



令和4年上半期分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和4年上半期分について、輸出額は「石油製品」、「映像機器」、「自動車」などが増加したことから対前年同期比31.7%の増加となった。また、輸入額は「半導体等電子部品」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが増加したことから、同73.8%の増加となった。
その結果、差引額は6,096億円（同138.9%の増加）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	5,190億円	+31.7%	1兆1,286億円	+73.8%	▲6,096億円	+138.9%
	3期連続の増加		3期連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 石油製品	662億円	+177.6%	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	6,247億円	+100.4%
		(2) 映像機器	356億円	1,026倍			(2) 液化天然ガス	1,948億円	+64.9%
		(3) 自動車	461億円	+182.3%			(3) 石炭	520億円	+201.2%
	減少品目	(1) 通信機	1億円	▲99.1%		減少品目	(1) 半導体等電子部品	10億円	▲69.7%
		(2) 事務用機器	2億円	▲97.5%			(2) 電気回路等の機器	27億円	▲33.3%
		(3) 科学光学機器	60億円	▲37.3%			(3) 音響・映像機器〔含部品〕	4億円	▲66.3%
地域別動向	アジア、西欧が増加、中東は減少				地域別動向	中東、大洋州が増加			

（参考）ドルレートは、121.36円（前年同期比13.2%、14.17円の円安）であった。

（注）令和4年上半期分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したものの。